

令和3年度第3回紋別市総合教育会議録

- 1 日 時 令和3年7月29日（木）午後3時00分～午後3時41分
- 2 場 所 紋別市役所 市長応接室
- 3 出 席 者 紋別市長 宮 川 良 一
紋別市教育委員会教育長 堀 籠 康 行
紋別市教育委員会教育長職務代理者 小 林 正 男
紋別市教育委員会委員 上 林 善 證
紋別市教育委員会委員 渡 邊 孝 博
紋別市教育委員会委員 古 屋 真由美
- 4 構成員以外の出席者 総務部企画調整課長 竹 本 幸 孝
- 5 事務局関係 教育部長 佐 藤 健 吾
学務課長 仲 条 憲 明
学務課庶務係長 米 田 晃
- 6 協 議 内 容 (1) 住民に開かれた教育行政を目指す取組（総合教育会議、
教育委員会会議等での実践）について

令和3年度 第3回紋別市総合教育会議 午後3時00分開会

○宮川市長

定刻になりましたので、令和3年度第3回紋別市総合教育会議を開催いたします。進行につきましては、私が務めさせていただきます。

それでは、次第に基づきまして、本日の協議に入らせていただきます。

協議事項（1）住民に開かれた教育行政を目指す取組（総合教育会議、教育委員会会議等での実践）について、教育長から説明をお願いします。

○堀籠教育長

本日の資料につきまして、お配りしておりますが、住民に開かれた教育行政を目指す取組ということで、総合教育会議、教育委員会会議等と書いてありますが、もう一つは、学校運営協議会でございます。その実践ということでございます。お配りしました資料は、文部科学省が発行する教育委員会月報の令和3年8月号に掲載を予定しております紋別市教育委員会の取組でございます。総合教育会議及び教育委員会の会議の中で、これからご説明しますが、住民の意見を取り入れるというような取組が全国的には活発に行われていないので、紋別市の取組が非常に珍しいということで文部科学省から、依頼を受けまして来月も文部科学省のホームページに掲載される予定となっております。

それでは、原稿に基づきまして、概略を説明させていただきます。1ページをご覧ください。

はじめにですが、教育行政は一般行政と違いまして、教育委員会が行うことになってはいますが、こちらにつきましては、政治的中立性の確保、継続性安定性の確保、それから地域住民の意向の反映等が、教育委員会制を採っている理由とされております。平成27年に、教育委員会の仕組みを定めております法律が改正されましたが、こちらの改正の理由については、黒ポツにあります四つの点、権限と責任の所在が不明確。それから、地域住民の意向を十分反映していない。教育委員会の審議等が形骸化している。迅速さ機動性に欠けるなどが理由で改正されたと言われております。権限と責任の課題とか迅速性につきましては、教育委員長と教育長を一体化しました新教育長の設置により解決されまして、地域住民の意向の反映については、首長、市町村長が教育長を直接指名することや、総合教育会議などで解決を図ると言われております。1ページ目の右側の上の方になりますが、そういった観点で設置されました総合教育会議の開催回数は、全国的に年ごとに減少していると言われており、十分に機能していないのではないかと指摘を受けられているところでございます。形骸化の理由については、教育委員

会でもそうですが、教育委員が十分な情報を持つことが難しいことや、小規模市町村の教育委員会の事務局の体制が不十分であることが理由であると言われております。

それでは、個々具体の会議の取組について説明していきます。1 ページ目下の1 番、総合教育会議の取組ですが、2 ページをお開きください。総合教育会議では、4 行目、これまで首長は教育政策について公式に発言する機会というのは、議会以外に設定されておりませんでした。新たに総合教育会議の場で発言することが可能になったと言われております。住民の代表であり地域・行政の責任者である首長が、直接、教育行政に関与する機会が定められております。2 ページ、右側の中ほど、紋別市議会の取組は、この表で今年の総合教育会議の議題を整理させていただきましたが、紋別市では、総合教育会議を基本的に毎月行うこととしております。令和3 年度から令和5 年度を対象にした大綱の策定協議は、以前は、大綱策定は2 回の協議で行ってございましたが、会議を3 回に増やして協議しております。こちらの中で、市民の意見を十分に反映した、大綱を目指すということによって一致したことにより、パブリックコメント、それまではあまり意見はありませんでしたが、現在実施されている大綱の策定協議にあたりましては、パブリックコメントが27 件寄せられ、市民から高い関心を得ることができたところでございます。

紋別市の総合教育会議の議題ですが、総合教育会議では3 点あります。1 点目は大綱の策定、2 点目は教育の条件の整備等重点的に講ずべき施策、3 点目は緊急の場合に講ずべき措置であります。以上の3 点について議題すべきと言われておりますが、現在まで紋別の総合教育会議では、緊急の場合に講ずべき措置について議題にすべき事由については、発生していないところであります。こうして総合教育会議を増やしたことにより、教育委員会側のメリットとしましては、2 ページの右側の下の方に、予算編成の権限を持つ首長のみならず、会議に同席する首長部門の総務政策予算担当者に施策の必要性を強く訴えることができ、教育の関心、重要性を理解するということにつながっていると思っております。

総合教育会議の仕組みは、他の行政部門にはない教育行政独自のメリットであり、多くの首長、紋別市もそうだと思いますが、教育行政分野に、大きな関心を持っていただいております。首長側にもメリットがあるものであると考えられます。また、本日も報道においていただいておりますが、住民に公開されている会議だということが大きなメリットです。総合教育会議の議論、紋別市の総合教育会議で話された議論については、報道などを通じて住民に、教育行政の取組を伝える機能をしておりまして、昨年だけでも、総合教育会議の話題だけで、10 回ほど報道に取り上げていただき、非常に市民の関心を持っていただくことにつながっていると思っております。今後は、さらに総合教育会議の内容を深いものにするために、

メンバー、それ以外の関係者のメンバーや学識経験者からの意見聴取についても検討していければと思っております。

続きまして教育委員会会議の取組ですが、一般的に教育委員会の会議は、一般の方には、中々分かりづらく、教育委員会会議の特段の関心のある住民以外には分かりづらいと思います。そのため、3ページ右側の上の方にある傍聴者数が、市町村の全国平均では年間5.7人ということになっております。回数で1回やっても、傍聴される方がいないのが多くの自治体の状況になっております。紋別市では、4年ほど前から教育委員会会議の傍聴呼びかけをしておりまして、それ以前の20年近く、報道機関以外の傍聴者がゼロという状態が続いておりましたが、昨年からは、傍聴者の方に来ていただく取組につなげております。まず1点目が、3ページ目の下の方を右側の下の方になりますが、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告審議というものがありますが、こちらも来月予定しており、毎年8月に開催していますが、4ページ開いていただきまして、こちらは、教育委員会が行っている事業をすべてPRする機会になっておりますので、左側の①から⑤のような形で、非公開としていたものを公開、夕方から開く、いつもよりも広い会議室で開催する、各種委員に傍聴を呼びかけるような形で、昨年度のこの会議の様子については、市民からの傍聴を得ることができたところでございます。

もう一つの取組として、4ページの(2)の出張教育委員会会議の取組ということで、昨年開催した小向地区、今年開催した上渚滑地区で、普段、文化会館で行っている教育委員会を、小学校を会場にしてやるということで、地域の方にも参加を呼びかけて、教育委員会の様子を知ってもらおうということで、それぞれ住民の参加を得て、会議の後には住民との意見交換の機会を設けて、教育行政に興味を持っていただくことにつながっているかと思っております。5ページに移りますが、今後は、対面での傍聴だけではなく、先月、試行的にオンラインで教育委員会の会議を行いました。こういった取組を進めていきまして、会議の公開を進めて市民の方に、教育行政の理解を得ていきたいと考えております。

3点目3番、学校運営協議会での取組ということで、総合教育会議や教育委員会会議のほかに、学校レベルで住民の方の声を、学校に取り入れる仕組みとして、紋別市では学校運営協議会の取組の力を入れているところでございます。こちらでも、この度行われました、紋別市議会の中でも、学校運営協議会の審議を、ぜひ公開して欲しいという声もいただいているところであり、非常に市民の方々からも、興味を持たれていると思っております。今後も、学校運営協議会の審議を、さらに、色々な意味で公開ですとか、内容を深めていくことによって、住民の声を教育行政に反映するという取組を進めていきたいと思っております。

今回は、総合教育会議と教育委員会会議、それから学校運営協議会の3点を中

心に、紋別市の施策についてまとめましたが、今後も、住民の方からどのように声を聞いていくか、教育委員会議をどうするかというところを、今後、進めていけるかということを考えておりますので、皆様からのご意見をいただきますようお願いいたします。

私からの説明は以上です。

○宮川市長

それではただ今、教育長から説明ございましたが、教育委員会のこれまでの取組、今後の取組の関係など、ご意見がございましたらお願いしたいと思います。

○小林委員

まず、学校運営協議会、コミュニティ・スクールは、議会でも質問が出ておりましたが、我々、教育委員も何箇所か本州などの協議会におじゃまして聞いてきました。その時、その町では素晴らしいことをやっておりました。それを紋別に帰ってきて真似できるかと言ったら、そうはいかないと思います。僕らが見てきたところには、良いところがありました。紋別としては、紋別としてのコミュニティ・スクールというものを作っていけばいいと思います。紋別独自というか、もちろん他のものを参考にするのは結構ですけど、自分たちで作るという意識が必要になってくると感じております。

○宮川市長

はい。上林委員よろしいですか。

○上林委員

私、関心を持ったのは出張教育委員会でございまして、意見交換で、自分も教育委員という立場で、一般の市民の方から、貴重な意見を直接、聞く機会というのはそうないものですから、こういう機会にいろいろなお話をお伺いでき、とてもいい経験となりました。学校訪問に行きましても、校長先生から学校運営に関するお話をいただくのですが、実際、教育に関わる一般教員の方からどういうことに興味を持っているのか。授業の内容についてどう考えているのか。そういう話も、先日の上渚滑の時に聞いたので、教員の方々も、こういうことで悩んでいたら、教育委員会としてこういう補助ができますよとか、ということもその場でいろいろ意見交換ができたのが、すごくいいなと思いました。これからも、一般教諭の方々にもどうぞ参加いただいて、お互いに情報交換しながら、いい授業体系ができていけたら、本当にいいものになるなとすごく感じました。

○宮川市長

ありがとうございます。渡邊委員どうですか。

○渡邊委員

やはり私も上林委員と同じで、今、移動教育委員会と言いますか、それで、今回は上渚滑、前は小向で開催したのですが、通常の定例会ですと、傍聴できるようになっていますが、PTAの人や学校関係の人がそこに行くのはなかなか敷居が高い感じがします。今回、出張になりますけど、教育委員会では何をやっているのがよく理解でき、そういう部分で、上林委員が言われたように、コミュニケーションを取る実態がわかる。一般の先生がどういうことを考えているのが、すごくわかりやすく、コミュニケーションが取れるということで、非常に透明度が高い。公開しているのが非常に目に見えて分かる会議だったと思います。やはり、どうしても閉鎖的ではないのですが、傍聴、傍聴と言っても、なかなか足を運ぶのが非常に難しく、できればそういう近くのところに行って、市民の人が気軽に参加できるというか、傍聴できる機会を作るっていうのは非常に大きかったと、私も思いました。

○古屋委員

私は、いろんな会議を公開して、報道されることによって、いろんな教育に関して興味を持ってくれる人が増えてすごくいいと思いました。学校教育会議などで、地域の方といろいろな学校の関係者の方が話し合っ、子供たちのために、より良いものにしていただけるのが良いことだと思います。

○宮川市長

よく会議の形骸化って言われていて、やはり、会議自体が活発に行われないと、なかなか意味がありません。そういう部分があって、そういうところについて気を付けなければならないと思っています。総合教育会議の中で、首長が出てくるというのは、自分も教育関係に対して入っていきやすいし、そういう部分では非常にいいです。そして、予算の部分も、いろいろありますが、自分もPTAの連合会長もやっておりましたので、結局、要望事項がどこにどう伝わっているのか、全然わからなくて、毎年同じような要望を出しますが、それがどのような形で、どう反映されているのか、バックがない。特に施設の整備など、PTAが要望するものではないと思っておりました。そういうのを感じていましたが、どうなのか。今もそういう形になっているのであれば、それは改めなければならないというのがあって、PTAは多分、学校、逆に、このコミュニティ・スクールではないですが、我が子が通っている学校の運営、そういうものの要望があって、

そういう部分がどんどん出てきてもらった方が、いいのではないかという感じがします。先日も、コミュニティ・スクールの会議、紋別中学校で開催したのを見させていただきましたが、それをまとめていくと言うか、運営してく力がないと、会をまとめていくというのは、大変だと思っています。やはり、この会の共通認識をきちんと持った中で、議論だけではなく、きちんと結論を出して、それを学校、教育委員会に上げていくという、そういう役割が、まだ理解されていないと思います。

○渡邊委員

多分まだ始まったばかりということも、一つあるのかなと思います。ただ、そこに参加されている保護者の話を聞いたことがあります。非常に興味があって、意欲があって、そういうものができたのだから参画される保護者もいるようです。それが、もう少しこの熱意が伝わってうまく回るようになれば、もっと物事が進展していくのではないかと考えております。

○宮川市長

だから、それをやられているものがフィードバックされてこない、一つ言ったことがどうなったのかということが、帰ってこないという意味がなくなってしまい、参加もされなくなってしまいうので、そういうところも含めて、運営、そういう部分については、やはり、かなり力のある方がまとめていかないと、できないというように感じてきたところです。予算の関係については、かなり教育関係は配慮をさせていただいておりますが、まだまだ施設の部分が、追いついてないところがありますので、早急にやっけていかないと。庁舎だけ新しくなって学校が古いままだと、それは恥ずかしい話なので。そういうところは、きちんと話をしているところです。

○渡邊委員

自分が思っているのですが、住民の声というか、自分がいろいろな行事があって、そこに行くことで、地域住民の声を聞いたりできますが、最近ではコロナの影響でそういった集まりがほとんどない状態です。前は、住民とのいろいろな話が聞けたのですが、それも最近では聞く機会がないので、そういう、例えばこのような出張会議などでしか、聞けない状態であります。また前のように、イベントとか、そういう行事が復活すれば、また地域の声が聞けるようになると思っております。もう少し住民の声が聞けるといいなと感じております。皆さんとコミュニケーションが取れないような状況なので、それをどうやって、改善させたらいいのかというところですね。

○竹本企画調整課長

私も出張教育委員会という形は、すごくいいなと思って聞かせていただいたのですが、こういった出張した形で開催することによって、参加する人が増えて、委員さんや首長が意見を聞くのもいいと思います。ちょっと観点を変えて、実践しているところもあると思いますが、子ども教育会議のような形で、頻繁にはできないと思いますが、例えば、年に1回、各学校の生徒会の代表でもいいのですが、集まって、大人と保護者、地域の声を聞く機会はあると思いますけど、直接、子どもたちが自分の学校の好きのところや嫌なところなど、ICTなどでタブレットの授業をしているので、子どもたちがどう思っているのか、そういったことを子ども達から直接、聞けるような機会が、今後、加わると面白いのではと考えました。

○渡邊委員

そうですね。子どもの目線。子どもと大人は、ちょっと違いますから。

○宮川市長

先日、紋別高校で、3年生の研究発表、実践発表を聞かせていただいて、いろいろ町に対する思いや考え方がそれぞれ出ていました。発表時間が短くて、いろいろディスカッションできる時間があればいいと思いました。あればではなくて、作らなくてはならないと思いました。

○上林委員

今のお話に関連しますが、コミュニティ・スクールにおいて、子どもの考えがあっても良いのではと思いました。授業を受ける側の子どもたちの考え方というもの、地域の中で必要な気がします。それを少し取り入れてやれば、何か上手くいく要素の一つになるのではないかと思っていました。地方ではあまりないのですよね。大人同士で集まるのだけど、そこに子ども入るとするのは、あまり無いので。小規模校は、子どもの意見を取り入れた方がいい気がします。

○宮川市長

組織的な作り方というのは、なかなか難しいので、堅い部分もありますし。また、参加してもらえる人も。

○上林委員

少し停滞したときに、活力あるようなものを、ちょっと入れると。

○宮川市長

そのほか、何かありますか。

○渡邊委員

今言われていたように、大人目線だけではなくて、子どもからの目線。大人に見えていなくて、子どもが見えるものもありますから。今、上林委員が言われたようなことも必要だと思います。

○上林委員

今、部活動が地域の中に入ってきているので、それをやるのは子ども達なので、そういった意見は、聞いておきたいですね。

○小林委員

教育長、各学校にコミュニティ・スクールがありますが、各学校同士の話し合いはやられているのでしょうか。

○堀籠教育長

渚滑は小、中合わせたコミュニティ・スクールですし、紋別中学校区は、紋別小学校、紋別中学校、南丘小学校の3校合わせたところではありますが、全市的なところも必要だと思っています。すべてのコミュニティ・スクールができてから2年目なので、そういったところも話をして、本日の話にありました、コミュニティ・スクールで、どういった話がされているのか、公開したらどうだろうということも市議会から提案もありましたし、今日の市長からの話でも、PTAなどの要望がどうなっているのかということなど、情報の公開や皆さんに知っていただくからという話がありましたので、本日いただいた話、コミュニティ・スクールの話など、また、子どもたちが、そういった声を聞くという取組についても、取り組んでいくような形で考えていきたいと考えております。

○宮川市長

それでは、よろしいでしょうか。以上で協議を終わらせていただきます。事務局の方から何かありますか。

○事務局

ありません。

○宮川市長

それでは、以上をもちまして総合教育会議を終了させていただきます。どうもご苦勞様でした。

午後 3 時 4 1 分終了